

2024年3月25日

各位

ENEOS株式会社

ゼンショーホールディングスとの廃食油の活用について ～航空燃料の原料への廃食油再活用に関する基本合意書の締結～

当社（代表取締役：宮田 知秀）は、株式会社ゼンショーホールディングス（代表取締役社長：小川 賢太郎、以下「ゼンショーホールディングス」と、廃食油を持続可能な航空燃料（以下、「SAF」）の原料として活用する取り組みに関する基本合意書を締結いたしましたのでお知らせいたします。

ゼンショーホールディングス傘下の牛丼チェーン「すき家」や、100円寿司チェーン「はま寿司」、ファミリーレストラン「ココス」などで排出される廃食油を、株式会社吉川油脂（本社：栃木県佐野市）および植田油脂株式会社（本社：大阪府大東市）が回収し、将来的には、当社が事業化を進めるSAFの製造プラント（和歌山製造所（和歌山県有田市）・能力40万キロリットル／年）で原料として使用する予定です。

当社は、グループ長期ビジョンに掲げる通り、「エネルギー・素材の安定供給」と「カーボンニュートラル社会の実現」との両立に向け挑戦しています。その一環として、SAFの原料調達・自社製造・販売まで一貫体制の構築を進めており、SAFの製造に必要となる廃食油や植物油を持続可能な形で確保するため、国内および世界にて、未活用の廃食油回収に向けた取り組みを多くのパートナーと協力し推進しております。

以上

【廃食油活用の流れ（イメージ）】

